

● 第三回定例会のお知らせ

次回の区議会は、**9月11日～10月16日**の約1ヶ月間開催される予定です。最初の5日間是一般質問で、私も質問に立ちます。

また、10月からは**決算特別委員会**（全議員が参加、中継あり）が行われ、昨年度の税金の使われ方をチェックするとともに、「もうちょっとここに予算割いたほうがいいのでは?」「国や都の補助金事業があるから今後はそれも使ったら?」など、来年度の予算編成に向けての提言も行います。

注目の 課題!

- 給食費の無償化を行う補正予算
- 第二子の保育料の無償化

ぜひ傍聴に来てください!!

PROFILE



▶1987年生まれ▶群馬県高崎市出身▶高崎女子高校卒業▶国際基督教大学(ICU)中退▶音楽(ドラム、打楽器、ギター、歌)保育士▶好き:スケボー、お茶、茨木のり子▶3.11を機に、子どもたちにどんな未来を渡したいか、自分の大人としての責任を考え始め、市民運動に参画▶2023年4月、3,906票を託され初当選

寺田陽香
てらだはるか

連絡先

✉ teraharu.minnanomachi@gmail.com
TEL 070-1385-3043
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
区議会事務局内 立憲民主党杉並区議団控室



杉並区議会議員 てらだはるか 区政レポート

よくかんで、よくたべる!

vol.

5

23年09月04日号

区政報告会 くせいほうこくかい

6月に議会が終わり、7月は区政報告会を個人と区議団とで合計8回行いました。区議団の合同区政報告会はそれぞれの担当地域を全員で周り、地域の課題について会派として取り組むべきこともいくつか参加者の方からいただきました。



高円寺の区民集会所にて

今後も区議会が終わるごとに区政報告会を開催し、何が良くなって、どこがダメで、今後一緒に何を考えたいか、情報共有をしながらみなさんのご意見をお聞きしたいと思いますので、ぜひご参加ください。



下高井戸おおぞら公園、まるでキャンプのような報告会



最新情報はコチラ
<https://teraharu.com/>

TOPIC 行政視察に行ってきました▶

行政視察 ぎょうせいしさつ

議員として、区内の施設だけでなく他自治体の施設も、各自治体の職員の方々に丁寧に説明をしてもらいながら見て回ることができます。

●世田谷区立産後ケアセンター

私は8月の頭に世田谷区立の産後ケアセンターを訪問させていただき、現場の助産師さん、保健師さん、子ども若者部の職員からお話を聞いてきました。虐待を未然に防ぎたいという強い思いから2008年に、まだ国の法律で何の位置付けもされていない中で、全国に先駆けて産後ケアセンターを立ち上げた世田谷区。特別区長会（23区の区長が集まる会）を通じて都や国に働きかけ続け、2017年8月には厚生労働省から産後ケア事業に関するガイドラインが公表されるに至りました。その後母子保健法が改正され、法的位置付けをもって区立の産後ケアセンターとなったという経緯があり、並々ならぬ熱意の下で運営されていました。今後はアウトリーチ（訪問）



型を増やしていくなど課題もまだまだたくさんあるようですが、私が何より注目したのは、「切れ目のない子ども支援」を行う上での世田谷区の姿勢です。

●子どもの権利条例の先に

日本が国際条約である子どもの権利条約を批准したのが1994年、それから2000年の川崎市に続きいち早く自治体として2001年に子ども条例を制定した世田谷区では、0～18歳までの切れ目のない、子どもの育ちのための施策が充実させられてきました。視察の中で、区役所勤務の職員ではなく、現場で一番最初に保護者と赤ちゃんを話す保健師さんが、これから生きていく子どもの成長を見据え、地域コミュニティの中で育っていくことについて話してくれたことが、特に印象に残っています。子

どもの権利についての意識を、子どもに関わる現場の人みんなが持ちながら連携しているからこそ、今の体制が成り立っているんだと感じました。

杉並区では8月28日（月）に子どもの権利擁護に関する審議会の第1回目が行われました。これから子どもの権利に関して根拠となるより良い条例をつくり、それに基づいて、保護者も子どもに関わる仕事をする人にも余裕が生まれる環境整備が行われるよう、私も議会の中から外から、働きかけていきます。

ごみしゅうしゅうの おしごと

9がつからの ぎかいのために、いろんな おしごとの ひとたちから たくさん おはなしを ききました。そのなかでも、まいにち みんなが だしている ごみ を あつめて まちを きれいにしてくれている ひとたちが こまっていることは すぐに どうにかしないと いけない とおもいました。

なつは とてもあつくて たおれそうに なってしまうこと。

ごみを あつめる おしごとをして もどってきて きゅうけいする せいそうじむしょが、 とてもふるくて こわれそうなこと。

すぎなみくは 23ねんかん、このしごとをするための あたらしい ひとを みつけなかったので、こうむいんとして このしごとをするひとの へいきんねんれいが 54さい であること。

おまつりのあとに まちを かたづけてくれるのも、 じしんや かじで いえやまちが こわれたときに かたづけてくれるのも、ごみしゅうしゅうの ひとたちです。だいじなしごとが だいじにされる すぎなみくであるように みんなで いっしょに かんがえたいなど おもっています。

